

会 議 録

1 会議名

令和5年度第4回谷浜・桑取区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

【自主的審議事項】

- ・伝統行事、史跡、文化の継承について（公開）
- ・来訪者を受け入れるための地域づくりについて（公開）

3 開催日時

令和5年9月7日（木）午後6時30分から午後8時00分

4 開催場所

上越市立谷浜・桑取地区公民館 大会議室

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

- ・委員： 坪田 剛（会長）、金森幸雄（副会長）、安達麻美、齊藤徳夫、
佐藤寿美子、佐藤峰生、田村 隆、寺島和枝、荷屋和夫、平野コトミ、
水寫豊秋（欠席者1名）
- ・事務局： 北部まちづくりセンター：佐藤所長、近藤副所長、小川係長、丸山主任

8 発言の内容

【近藤副所長】

- ・会議の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

【坪田会長】

- ・挨拶
- ・会議録の確認：田村委員に依頼

議題【自主的審議事項】「伝統行事、史跡、文化の継承について」「来訪者を受け入れ

るための地域づくりについて」事務局へ説明を求める。

【丸山主任】

前回の会議では、各部会の検討テーマを自主的審議事項として位置付け、引き続き審議を行うこととした。今回は、前回会議における協議の続きを、各部会に分かれて引き続きお願いしたい。なお、地域活性化の方向性の構成要素から、各部会1項目ずつ自主的審議事項として掲げているが、各部会で担当する他の構成要素も、それぞれ検討テーマと関連する部分があると思うので、同時に検討していただいても差し支えない。ただし、大幅に本筋から外れることのないようご注意ください。

・資料No.1 「『地域活性化の方向性』の実現に向けた検討について」に基づき説明

【坪田会長】

部会別協議に入る。地域生き生き部会は、会議室後方のテーブルに、魅力活用部会は会議室前方に集まって、協議をお願いしたい。

【丸山主任】

7時30分をめぐりに、協議をお願いしたい。

— 部会別協議 —

【坪田会長】

各部会で話し合った内容の報告を求める。

まず、地域生き生き部会長からお願いしたい。

【水嶋委員】

地域生き生き部会の協議内容は、資料No.1に載っているように、「小正月行事と町内会行事の実施状況を整理する」ということで、本当は各町内に聞けばよいのだが、わかる範囲で周りの町内の実施状況を聞いた。それによると、ほとんどやられていないところが多く、鳥追いやどんど焼き等をやられているところが何件かあるが、ほとんどが西横山と、代表的なのは横畑の馬ぐらいではないかということである。個々に慰労会や盆踊りをやられているところはあるが、伝統行事というようなものではないということである。この内容をどのように今後の活動に活かしていくかについては、まず、かみえちご山里ファン倶楽部と意見交換をしてはどうかということになった。今、かみえちご山里ファン倶楽部がたくさんの小正月行事の支援をやっておられ、我々がでしゃばって口を挟むこともないので、何かご要望があればそれをお聞きして、できることがあれば協力していけばどうかということで、その意見交換会を、できれば10月中に実施したいと

いう状況である。

【坪田会長】

意見、質問を求める。

【佐藤峰生委員】

今の説明では、小正月行事はもうほとんどの町内がやっていないということなので、「小正月行事・町内会行事実施状況整理表」は、今後の地区のある意味で目玉になるのではないかと私は思っている。どういうことかと言うと、各町内でいろいろな行事をやっているが、それをこの表にまとめ上げる。具体的には、各町内の神社にスポットを当ててはどうかと私は思っている。神社では、春祭り、秋祭りという祭りが実施される。各町内の祭りのスケジュールのようなものを調査して盛り込む。私も谷浜・桑取地区の各町内の祭りで行ったことがないところのほうが多いので、地元の人が交流し合うような、そういうところから進めてはどうか。

もう一つは、一つの町内でなかなか行事がしにくいという状況になってきている。これは、高齢化だけではない。祭りを例に挙げると、私どもの町内では、1年のうちに不幸があると神社に上がれず、少ないときには5人ぐらいしかお祭りに参加できない。高齢だからできないということではない。それでも祭りは実施するわけだが、どうせやるならにぎやかにということで、例えば三つか四つの町内が、お互いが行き来し合うような、交流するような、そういう場にできないか。準備も含めて、当然大変な部分が出てくる。具体的には、この地域には、諏訪神社や白山神社がある。諏訪神社のグループはないが、神社ごとにまとめるとか、町内ごとにまとめるとか、いろいろ方法があるかと思う。神社、祭りをテーマにして調査から始め、町内間の交流、協力に繋げていってはどうか。

【坪田会長】

私も佐藤峰生委員と同じ意見で、人が足りない、高齢化という部分は、どこの地域もみんな一緒だと思う。それを共助、共有しながら、この谷浜・桑取地域を盛り上げるというのが一つの活性化の趣旨でもある。町内会長会議においても、共有するという部分を私はすごく訴えている。一覧表を作ることによって谷浜、桑取の一線を共用して、一人でも二人でも、お互い手伝いに行く。土地によっては、集落だけの人間だけでやる、他の地域の人に来てほしくないというところもあるかもしれない。それはそれとして、やりたいがどうしてもやれない集落もある。そこは地域の理解と協力でやって、広げて

いけばいいのかなと思っている。

一覧表を作りながら、全世帯がどこで何をやっているかがある程度わかれば、それでも興味のある人から行っていただけるのではないかと。

【水嶋委員】

祭りのスケジュールについて意見があったと思うが、場所によっては日程が重なるときがあるので、うまく行き来ができるかできないか。自分の地域でやっているのに、行かれないという人もいるかもしれないので、なかなか難しいのではないかと。それでも、そういうスケジュールを見て、一人でも二人でも興味のある人はそこへ行くというのもいいのかなと思う。佐藤峰夫委員が言われるように、私たちも不幸があると祭りをやれない。限られた人数で、いつ見ても同じような人間しか出てこないような状況になっているので、もうどうしようかというような状況である。みんなそうかと思うので、状況もわかるので、そのへんも検討する。

【坪田会長】

その他、意見、質問を求めるがなし。

続いて、魅力活用部会の報告を求める。

【佐藤峰生委員】

8月24日に管理組合の皆さんが草刈をするということで、訪問してアンケートの実施について話をさせていただいた。わずかな時間だったということもあり、協議をするというレベルではなく、アンケートを実施したいというプレゼンで終わったというのが実態である。そういう前提で、魅力活用部会としては、地域協議会としてアンケートのたたき台を作って、管理組合を含めた関係する部署に話をさせていただいて、最終的に案をまとめ上げるという方向で検討をした。

目的としては、大きく二つのテーマがある。一つは、たにはま公園に訪問してくれる人が、どのように感じているか。もう一つは、谷浜・桑取区についての認知度。具体的には、ガイドマップ等を知っているか、持っているか、訪問したことがあるかということをお聞かせいただく。それを踏まえて、公園のいいところ、悪いところ、そういう意見をまとめてさらに公園の魅力をPRする。谷浜・桑取区についての認知度が低いのであれば、どうやって広げていくかということにつなげていく。大卒のスケジュールとしては、次回の会議までに、ある程度アンケート案のたたき台を作り、年内中に管理組合を含めた関係する方々と協議をしてアンケートの素案を作って、実施は来春というよう

なスケジュールで進めてはどうかということでもとめさせていただいた。次回には、こんなことを皆さんに聞きたいということがある程度わかるのではないかと考えている。

【坪田会長】

意見、質問を求めるがなし。

- ・次回協議会候補日：10月23日（月）午後6時30分から

【丸山主任】

会場の空き状況と、地域生き生き部会の意見交換会の日程調整をさせていただき、協議会の日程が固まり次第次回開催のご案内を出させていただきます。

【坪田会長】

他に意見、質問を求める。

【齊藤委員】

急遽出席できなくなったときは、どなたに連絡すればよいか。

【丸山主任】

携帯電話に転送されるように設定してあるので、北部まちづくりセンターの電話番号に連絡いただきたい。

【坪田会長】

欠席はしかたないが、連絡は必ずしていただきたい。

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

総合政策部 地域政策課 北部まちづくりセンター

TEL：025-531-1337

E-mail：hokubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。